

学 習 日 誌

10月 27日 (金)	講 師	あすなろ大学 15年生 土門幸平 氏
出席者数	89名	記 録 者 5年 4班 岩宮 正治
講 座 名	受講生提案講座2 「15年間で地球7周半の自転車走行」 班活動 あすなろ大学決まり集などの改定の説明など	
プログラム担当者	プログラム委員会 委員長 大村浩治	
時 間・場 所	13:30 ~ 15:30 、 第一集会室 にて	

【学習内容】

1. 受講生提案講座2 「15年間で地球7周半の自転車走行」

あすなろ大学 15年生の土門さんが、自転車とともに駆け巡った日本一周などについて紹介された。最初は自転車に乗り始めて段々長距離走に目覚め、東北一周にチャレンジしてこれをやり遂げて、悪く言えば病気にかかってしまった。そして遂には日本一周と言うとてつもない目標を思いついてしまった。日本一周と言っても、全都道府県を踏破するという無謀さも伴う夢だった。この時、既に古希を超えての年齢なのでその心身ともの鉄人ぶりだ。この夢を達成した後も10年近く自転車人生を送っているとの事である。

発表ではその時々撮った美しい写真やエピソードを交え、その時々心の内も熱く語られた。特に西行法師や能因法師あるいは松尾芭蕉翁の歌なども取り込まれていて昭和時代に学生時代を過ごした我々に共感があった。また、ところどころ出てくる樹木に関するエピソードも楽しかった。



2. 班活動 あすなろ大学決まり集などの改定の説明など By 進藤会長 他

会の冒頭、東地区文化センターの工事期間が、建築関連業での働き方見直しに伴い、工期が延長されることになり、今期後半スケジュールの見直しが迫られていることの報告がなされた。

ジャンル別グループに分かれた席順に座っての、あすなろ会規約改定の説明が進藤会長より行われた。従来はコース別の受講が可能であったが、ジャンル別グループ分けをして、調べ学習や講座運営に積極的に参加してもらう運営方式に変える方針の説明があった。その基本はあすなろ憲章に基づく事が示された。

その他ジャンル別グループ分けとプログラム委員会、東地区文化センター改装中の講座に関する説明があった。

【感想】

土門さんの15年間にわたる自転車との楽しい付き合いのお話を聞かせて頂いた。道連れと一緒に走ったこともあったようだが、大抵は一人で大自然と向き合いながら、ある時は楽しみながらある時は苦しみながら走り続けたのだと思う。山登りで100名山や200名山にチャレンジする人の心境に近いのではないかと思う。土門さんの場合には自分でその目標地域や目標値を設定した点に更なるチャレンジ意欲が沸き、熱き情熱を傾けてきたのだと思う。老いても持ち続けている若き心に敬意の乾杯をささげたいと思う！